年間授業計画　新様式例

高等学校　令和８年度（３学年用）　教科 国語　　科目 国語表現

教　科：国語　　科　目：国語表現　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（　　石橋　　）

使用教科書：（『国語表現』東京書籍　　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　国語表現　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数	
1学期	・冒頭の文章や「表現の窓」の文章を読んで，「表現とは何か」について考える。 ・さまざまなゲームに取り組み，表現を学ぶ際に重要なことを体験的に知る。	表現とは何か	○	○		［知技］ ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・采用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，自分の思いや考えが伝わるよう，具体例を効果的に配置するなど，話の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫している。 ［主］導入のミニゲームを通じて，積極や身体表現などを進んで自ら体験し，学習課題に沿って表現が伝わったときの喜びを理解しようとしている。	○	○	○	4	64
	・情報を整理し，「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて，分かりやすく伝える方法を身につける。 ・学習を通じて得られた「分かりやすく説明する方法」を，日常生活においても状況に応じて使えるようにする。	分かりやすく説明しよう	○	○		［知技］ ・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討している。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 ［主］分かりやすい説明に必要なことを粘り強く理解しようとし，学習課題に沿って，音楽選びや音楽聴き，情報の整理などの観点から，説明の仕方を改善しようとしている。	○	○	○	16	
	・自分の身体が表現しているものについて考えを深める。 ・演劇的な活動に取り組み，自分の身体を効果的に使って表現するスキルを身につける。	身体で表現しよう	○	○		［知技］ ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ［主］即興で演じる活動を通じて，身体が表現することを積極的に意識し，スピーチや発表などの際に効果的に伝えられるよう，今までの学習を生かして表現の仕方を改善しようとしている。	○	○	○	16	
	・問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きく関わることを認識し，その種類や機能を学び，活用法を習得する。 ・インタビューを実践することで，問い・質問のもつ力や意義，その重要性を体験的に学習するとともに，インタビューを文章で再現することで，構成力や表現力を養う。	「問い」を考えよう	○	○		［知技］ ・言葉には，自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，視点を明確にして聞きながら，話の内容に対する共感を伝えたり，相手の思いや考えを引き出したりする工夫をして，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ［主］コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを粘り強く理解し，学習の見通しをもってインタビューの企画，準備，実施，インタビュー記事の執筆活動に臨もうとしている。	○	○	○	8	
	・自己分析を行い，第三者の意見も踏まえて，客観的に「自分」を把握する。 ・志望理由書・履歴書の作成，模擬面接などで，相手に伝わるように「自分」を表現する。	「自分」を表現しよう	○	○		［知技］ ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，論点を明確にして自分の考えと比較しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ［主］自分を表現する活動を通じて，相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことを粘り強く理解し，今までの学習を生かして表現を改善しようとしている。	○	○	○	20	
2学期	・小論文を書くことを通じて，与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と，論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。 ・現代社会のトピックに対して，問題発見・課題分析を行い，問題解決能力を養う。	論理的な文章を書こう		○		［知技］ ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・采用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 ［思判表］ ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において，読み手の共感が得られるよう，適切な具体例を効果的に配置するなど，文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ［主］小論文を書く活動を通じて，設問に応じて主張を組み立て，根拠を明確にしながら論じることを粘り強く理解し，学習の見通しをもって自らの文章を改善しようとしている。	○	○	○	26	64
	・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと，それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。 ・災害避難所でのコミュニケーションにおける意見対立を描いた脚本をもとに，協働的問題解決を目指す話し合いをシミュレーションする。	話し合う力をつけよう		○		［知技］ ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，自分の主張の合理性が伝わるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の展開や構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において，互いの主張や論拠を吟味したり，話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど，考えを広げたり深めたりしながら，話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ［主］ファシリテーションの意義や技法を粘り強く理解し，学習の見通しをもって話し合いの中で積極的に実践しようとしている。	○	○	○	10	
	・本を紹介し合う活動を通して，さまざまな本と出会い，読書の楽しみを知る。 ・本を紹介したり，本の内容について対話したりする活動を通して，思考を深め，表現を豊かにする。	表現と読書活動	○	○		［知技］ ・省略や反復などの表現の技法について理解を深め使っている。 ・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，目的や場に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め，他者との多様な交流を想定しながら情報を収集，整理して，伝え合う内容を検討している。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ［主］本を紹介し合う活動に積極的に取り組み，今までの学習を生かして他者との交流を通して内容への理解を深めたり，相手に伝わる表現を工夫したりしようとしている。	○	○	○	12	
	・正確な情報を見極め，その情報を目的に合わせて効果的な表現で発信する。 ・相手意識を持ち，相手にとって有用な内容や理解しやすい表現を吟味する。	情報活用力を身につけよう	○	○		［知技］ ・采用的な文章などの種類や特徴，構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，互いの主張や論拠を吟味したり，話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど，考えを広げたり深めたりしながら，話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・「書くこと」において，目的や意図に応じて，実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め，情報の組み合わせなどを工夫して，伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において，自分の考えを明確にし，根拠となる情報を基に的確に説明するなど，表現の仕方を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の思いや考えを明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫している。 ［主］必要要素の見出しを粘り強く理解し，学習課題に沿って読み手に伝えたい情報	○	○	○	16	
3学期	・発表内容を受け入れてもらうために，効果的で印象的なプレゼンテーションの仕方や，相手の心を動かすのに必要な身体表現（発声・身振り）や態度などについて学び，説得力のある表現について理解する。 ・フィードバックで他者の意見を取り入れることで，相手の心を動かすよりよい表現を目指す。	説得力のある提案をしよう	○	○		［知技］ ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色について理解を深め，伝え合う目的や場面，相手，手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し，使い分けている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，互いの主張や論拠を吟味したり，話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど，考えを広げたり深めたりしながら，話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 ・「書くこと」において，読み手の同意が得られるよう，適切な根拠を効果的に用いるとともに，反論などを想定して，論理の展開を考えるなど，文章の展開や構成を工夫している。 ［主］プレゼンテーションを行う活動を通じて，説得力のある提案をするために必要なことを粘り強く理解し，今までの学習を生かして実践しようとしている。	○	○	○	10	12
	・日常生活上のことも含めた「表現」活動を振り返り，今後の「表現」をたいにこにする気持ちを養う。 ・表現の工夫が他者とのやりとりで重要であることを理解し，言葉を吟味し適切に使おうとする態度を養う。	心をつかむ表現	○	○		［知技］ ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ［思判表］ ・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応に応じて言葉を選んだり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において，自分の思いや考えを明確にし，事象を的確に描写したり説明したりするなど，表現の仕方を工夫している。 ［主］教材文を読んで，社会で必要とされている表現の在り方について考え，学習の見通しをもって自分の表現に生かそうとしている。	○	○	○	2	
										合計 140	